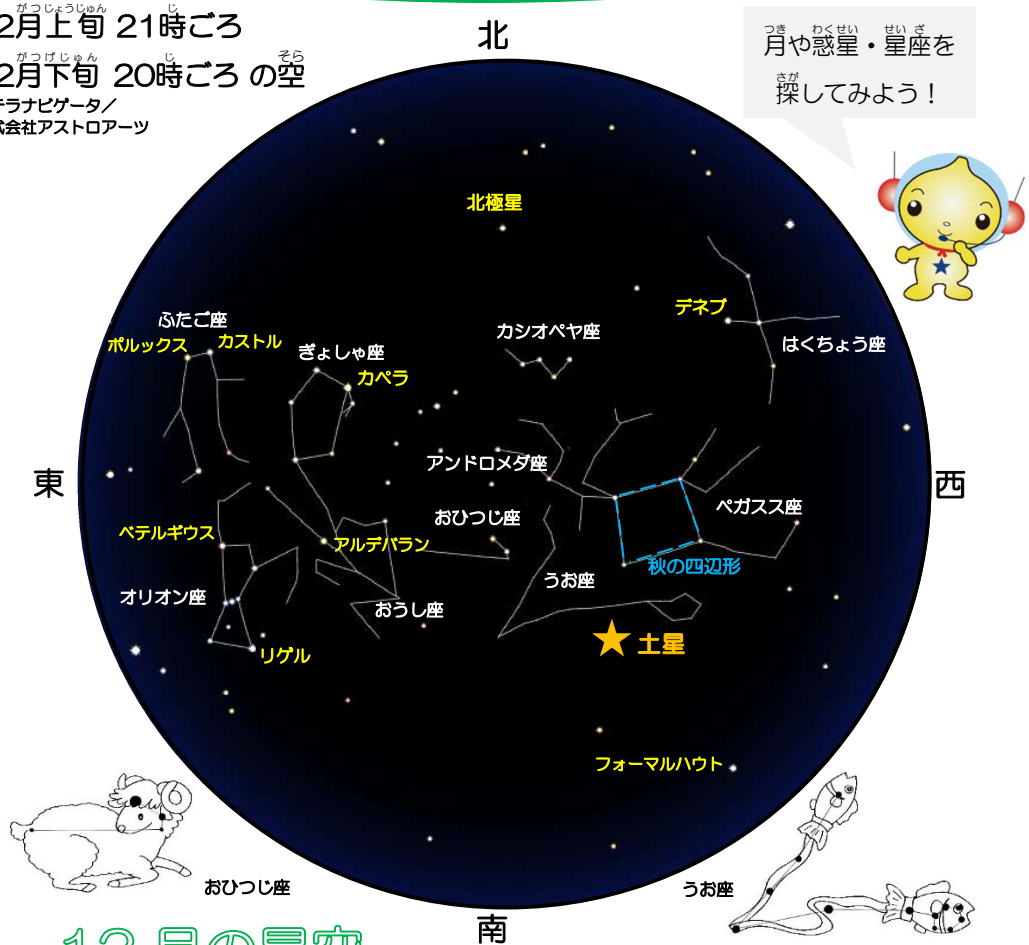
月刊 星空の散歩道 12月号

2026年

12月上旬 21時ごろ
12月下旬 20時ごろ の空

ステラナビゲータ／
株式会社アストロアーツ



月や惑星・星座を探してみよう！

12月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に秋の星座が見え、東の空に冬の星座が見える。

＜西＞ **はくちょう座**（デネブ）、**ペガスス座**
＜天頂＞ **アンドロメダ座**、**おうし座**（アルデバラン）
＜東＞ **ぎょしゃ座**（カペラ）、**ふたご座**（カストル、ポルックス）、**オリオン座**（ベテルギウス、リゲル）
＜北＞ **北極星**、**カシオペヤ座**

☆天文トピック☆

12月14日　ふたご座流星群が極大
天文コラム参照。

12月18日　月が土星に接近
月の近くに土星が見えます。まわりに明るい星がないので、「これが土星だ！」と見極めるチャンス！

12月22日　冬至
北半球では 1年で 最も昼間の時間が 短く なります。

☆月の形の変化☆

12月 1日	下弦	◑
12月 9日	新月	●
12月17日	上弦	◐
12月24日	満月	○

☆12月の惑星☆

土星…日没後、南の空
木星…明け方、南の空
火星…明け方、南の空
金星…明け方、南東の空

＜天文コラム＞　今年のふたご座流星群は好条件！

流れ星を比較的多く見ることができる「ふたご座流星群」が、2026 年は好条件とされています。流星群が見やすい条件として、「①流星出現の極大時刻が夜である」「②月明かりが少ない」「③冠する星座の高度が高い」があります。今年のふたご座流星群の極大時刻は 12 月 14 日 23 時頃と予想されています。この日の月は 21 時半頃に沈むため、月明かりの影響も少なくなります。さらに、ふたご座も空高く昇り（午前２時頃に南中）、条件の全てが揃います。

流星群の流れ星は、星空のある一点（放射点）から空全体に放射状に流れるため、放射点がある星座の名前をつけて呼ばれます。見え方は様々で、放射点の近くに現れる流れ星は経路が短く、離れたところを飛ぶ流れ星は経路が長く、大きく見える傾向があります。流れ星は空のどこに現れるか、予想がつきません。観察する時は、寝転がって空全体を見渡すことがおすすめです。

極大時刻を挟んで、12月14日21頃から、翌日15日３時頃まで、晴れたら夜空を眺めてみませんか。天の川が見えるような星空では１時間あたり 30 個以上、伊丹市街地では１時間あたり数個、数時間で 10 個以上の流れ星が見られるかもしれませんよ。

伊丹市立こども文化科学館　発行日　2026年11月20日
〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津３丁目1-36　TEL：(072)784-1222